

知名度向上へラジオCM

思い込めたテーマ曲採用



ヒカリ引越センターの平戸伸和社長は5日、MBSラジオの「みらいデザイン研究所」の収録を行い、引越業の魅力のアピールし、業という以上にやりがいを感じられると語った。

平戸伸和社長

MBSラジオで収録 「人生の転機」寄り添う

みらいデザイン研究所は「未来に向けて活動する企業、団体の思いを伝える」をテーマに、関西エリアの経営者、実務者を紹介、ヒトを説明した。

カリ引越センターがMBSラジオでCM放送を流した経緯があり、平戸氏の出演が決まった。

15分ずつ前後半に分かれ、会社の歴史、物流業界の人材確保をテーマにそれぞれ収録。ラジオのため映らないものの、平戸氏は同社のPRキャラクター「引っ越しヒーロー」の衣装で

ヒカリ引越センター

平戸伸和社長、神戸市中央区グループのヒカリ引越センター(同)は、ラジオCMを活用し知名度向上につなげている。物流業界への思いを込めたテーマソングを採用するなど、リスナーに強い印象を与えることで、営業活動だけでなく人材の確保にもつなげたいと考えた。(黒須晃)

MBSラジオ、Kiss 日26年1月12日、Kiss FM KOBEで放送。sでは2月7年1月を予MBSは2005年12月20日定している。

出演し、「引っ越し」という「陰キャ、引きこもり大歓迎な時期だからこそ、お客さまをケアする存在が必要。心も体も魂も運ぶヒーローなのです」とコンセプトを説明した。

入社当時のエピソードとして、阪神大震災の影響が残っていた2000年前後を振り返った。仮設住宅の引っ越し需要が大きく、被災者の依頼を請け負う中、「ただ物を運んでいるだけの仕事ではないのだ」と強調し、被災者に寄り添う姿勢を語った。

今回の収録内容は3月16、23の両日に放送予定。収録後、司会を務めた大吉洋平氏、二神敦氏と平戸氏で記念撮影を行った。(黒須晃)

「人生を自分の判断で生き抜く」という物流業界の仕事に懸ける思いを込めた。また、同社の目標である「スケールの大きな会社を目指す」をイメージした「地球の引っ越し」というフレーズも織り込まれている。印象的な歌詞とキャラクターでポップな曲調が特徴だ。

「引っ越し」という「陰キャ、引きこもり大歓迎な時期だからこそ、お客さまをケアする存在が必要。心も体も魂も運ぶヒーローなのです」とコンセプトを説明した。

入社当時のエピソードとして、阪神大震災の影響が残っていた2000年前後を振り返った。仮設住宅の引っ越し需要が大きく、被災者の依頼を請け負う中、

ヒカリ引越センターは県内や阪神地域が主な営業エリアで、MBSは大阪府や兵庫県、Kissは兵庫県にリスナーが多く、高い宣伝効果が見込める。

テーマソングのコンセプトは「ドライブ・イン・サ・コクピット」で、「人生を自分の判断で生き抜く」という物流業界の仕事に懸ける思いを込めた。また、同社の目標である「スケールの大きな会社を目指す」をイメージした「地球の引っ越し」というフレーズも織り込まれている。印象的な歌詞とキャラクターでポップな曲調が特徴だ。

ホームページや動画投稿サイト「ユーチューブ」チャンネルで、配信する動画のBGMとして24年に制作したところ、放送局からラジオCMの打診を受けた。これまで、写真・動画共有アプリ「インスタグラム」に日々の活動を投稿してきたが、今回もラジオ局でのCM収録の様子をアップしてPRに活用。ラジオCMを機に、広報活動を一層加速させていく。

平戸社長は「さまざまな媒体でアピールしてきたが、一般市民向けにもっと発信する必要があると考えていた。テーマソングは個

人的に気に入っており、ラジオとの相性も良いと思われ、ありがたかった」と話している。多くのリスナーに当社